

日韓通訳・翻訳学科

2年次

(通訳・翻訳コース)

---

授業案内 (シラバス)

## 2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
字幕翻訳	1・2年次	4	松本	水曜日・3・4時間目 後期のみ

### 概要

韓流ドラマの放送枠拡大、全放送番組の字幕放送化決定によって、日本では放送用字幕の需要が急増している。この授業では実際に映像翻訳を行うことで、字幕制作ソフト「SST」の操作と字幕翻訳の基礎的スキルを習得する。基本は韓日翻訳だが、留学生が希望する場合は日韓翻訳も行う。定員は20名程度を予定しており、欠席3回でF評価。

### 到達目標

日本人学生…韓日字幕翻訳の基礎的スキル、およびNHKが推奨する日本語表記（漢字表記、送り仮名など）の習得。  
留学生…相手や場面、性別などに応じた自然な日本語表現の習得。

### 受講要件

通訳翻訳科、韓国語コース  
中級以上の学生で出席率90%以上の者。

### 評価方法

出席、及び授業態度により評価。  
試験は特に行わない。

### テキスト

松本が実際に業務で翻訳した映像を用いる。

### 参考書

なし

### 授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15

### 教員紹介

韓国への留学経験(1年6ヶ月)と勤務経験(5年)がある。帰国後は外務省の国際交流授業、アジア舞台芸術祭・日中韓環境教育ネットワークなど各種イベント・シンポジウム通訳、ガイドブック取材・執筆などさまざまな業務に従事。現在は日韓映像翻訳も行っている。

## 2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
韓国文学翻訳2	2年次	4	栗畑	金曜日・2限目

### 授業の到達目標

韓日翻訳を通して俗語、方言を含むさまざまな文体を理解し適当な日本語に翻訳できる。またテキストを正確に把握した上でふさわしい日本語に翻訳(意訳)できる。漢字検定2級程度の漢字が読んで書ける。

### 講義概要

韓国の教科書で扱う小説や一般の小説、文芸誌、新聞コラムを教材として使用し、さまざまな文体や語彙、韓国語独特の言い回しにふれ、ふさわしい日本語を探し翻訳していく。日本語の文章を作成するにあたって必要な漢字も共に学習していく。

### 受講要件

積極的に授業に参加できる人のみ。

### 評価方法

課題40%、試験40%、授業参与度20%、欠席は1回につき1点減点

### テキスト

講師作成のプリント

### 参考書

特にありません

### 授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション、60番バス	1 幸運1
2 夢がある人たち	2 幸運2
3 この指なんだけど	3 私たちの汚れた英雄1
4 履歴書に書けない経歴	4 私たちの汚れた英雄2
5 自分を守る節約	5 ソナギ1
6 小さな配慮	6 ソナギ2
7 中間確認とまとめ	7 中間確認とまとめ
8 トースト友達	8 春の風1
9 その春は涙が溢れた	9 春の風2
10 冷凍パジャマ	10 ムジン紀行
11 ラーメン無しで生きる1	11 お母さんが送った手紙1
12 ラーメン無しで生きる2	12 お母さんが送った手紙2
13 後半確認とまとめ	13 後半確認とまとめ 卒業作文
14 前期期末テスト	14 後期期末テスト
15 テスト講評、補充、意見交換など	15 テスト講評、まとめ、卒業作文発表

### 教員紹介

栗畑利枝：韓国慶熙大学校韓国語学科卒業。韓国語教師資格2級、通訳案内士資格取得。大学4年次で韓国大使館韓国文化院にてインターン研修ののち、卒業後は法務省をはじめとする官公庁やJOC強化選手に韓国語を指導。現在は専門学校で講師として韓国語及び韓日翻訳を指導。

秀林外語専門学校

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
韓日翻訳演習2	2年次	4	坂本	木曜日・2限目

概要

様々な題材の文章を使い、より適切な日本語らしい表現、漢字の読み書き、カタカナ語への変換等を演習し、語彙力を高め、企業、一般社会において恥ずかしくない正確な表現力を身につけられるよう目指していく。政治、経済、外交、文化等の専門分野でも十分に使える翻訳力を養えるようにしたい。また通訳案内士試験翻訳問題にも対応していく。

到達目標

日本語らしい日本語表現、漢字、慣用句、一般常識等を含め、日本社会で普通に通用する翻訳力を身につけること。

受講要件

特になし

評価方法

平常点（出席率、授業態度）：20%  
課題：30%  
試験：50%

テキスト

自作テキスト

参考書

特になし

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション	1 長文翻訳1記事1
2 中文翻訳1記事1	2 長文翻訳2記事2
3 中文翻訳2記事2	3 長文翻訳3記事3
4 中文翻訳3記事3	4 長文翻訳4コラム1
5 中文翻訳4記事4	5 長文翻訳5コラム2
6 中文翻訳5コラム1	6 長文翻訳6コラム3
7 中文翻訳6コラム2	7 長文翻訳7論文1
8 中文翻訳7コラム3	8 長文翻訳8論文2
9 中文翻訳8エッセイ1	9 長文翻訳9論文3
10 中文翻訳9エッセイ2	10 長文翻訳10小説1
11 中文翻訳10エッセイ3	11 長文翻訳11小説2
12 中文翻訳11社説1	12 長文翻訳12小説3
13 中文翻訳12社説2	13 長文翻訳13小説4
14 学期末試験	14 学期末試験
15 試験考察・講評	15 試験考察・講評

教員紹介

外務省専門調査員、通訳案内士、企業・官公庁通訳翻訳・韓国語講師

秀林外語専門学校

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
通訳実習2	2年次	4	松本	水曜日・1限目

概要

日本語と韓国語は漢字語をほぼ共有するために、韓国語ネイティブの学習者の場合、日本語の漢字語を読むときに意味だけを理解して読み飛ばしてしまうことが多く、正確な発音が身につけていないことが多い。この時間では徹底した実践を通して「理解語彙（文字を見て、あるいは聞いて理解できることば）」と「表現語彙（書いたり、話したりできることば）」のギャップを埋め、話し言葉としての語彙を増やし、豊かな表現力を身につけたい。

到達目標

日常生活ではあまり使うことのない上位概念の抽象語（政治・経済その他の専門用語など）が正しく発音でき、話し言葉としての豊かな語彙力・表現力を身につけること。幅広い話題を教材として扱うことで一般常識の知識も増やして、一般的な通訳がある程度こなせるレベルが目標である。

受講要件

特になし。  
授業中は帽子着用禁止。

評価方法

平常点（出席率及び授業態度）：50% 試験：50%  
ただし学期ごとの出席率が80%以下の場合はFとする。

テキスト

自作テキスト  
自作mp3ファイル

参考書

特になし。ただし受講に当たっては、データ移動・保存用のUSBメモリとヘッドフォンが必要。

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 夏休み前までは読み・シャドーイング中心で、9月に入ってから逐次通訳の形の演習を行う予定である。また筆記能力にも問題があり、長音・濁音が聞き取れないケースも多い(日本人の場合はパッチムの間違いが多い)。よって「書いて覚える」ことにも主眼を置き、初出教材を扱う時、最初に音声を書き取らせ、毎回添削して学生に戻している。	1 高貴も基本的には読み書きとシャドーイングを逐次通訳形式と平行して行う。音声教材はさまざまな使用方法ができるため、学生のレベルに合わせてシャドーイングをさせたり通訳をさせたり、一律に同じ課題を与えることなく臨機応変に対処する予定である。
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15

教員紹介

韓国への留学経験(1年6ヶ月)と勤務経験(5年)がある。帰国後は外務省の国際交流授業、アジア舞台芸術祭・日中韓環境教育ネットワークなど各種イベント・シンポジウム通訳、ガイドブック取材・執筆などさまざまな業務に従事。現在は日韓映像翻訳も行っている。

## 2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
通訳2（韓日）	2年次	4	中野	木曜日・1限目

### 概要

一つの文章を丸々聞いてからの通訳の場合、要点をまとめる力が必須となる。このレベルでは日常会話にない語彙も多く含まれる。単語を辞書で調べる時間的余裕はない。ではどうするのか？既知の単語力を駆使し、頭の回転。記憶力も重要なファクターだ。それらを磨くことも目的の一つだ。

### 到達目標

第1目標 通常の会話とは別の世界の日本語があること、それを早く習得するように。  
 第2目標 「通じる」だけでなく正しく公的な日本語を目指そう。

### 受講要件

日韓1年次終了、又は同等レベル

### 評価方法

期末実技試験40%・各中間試験20%×2  
 出席状況20% 他授業態度等も加味する

### テキスト

自主作成のテキストを  
 配布する

### 参考書

特になし

### 授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 1年次の成果を振り返っての重点事項検討	1 前期の反省点、各自指摘
2 テキスト韓国語文（高校生水準）の逐次通訳	2 テキスト継続
3 同前 このレベルの用語の置換えの難しさ体感	3 同前 一韓国独特の風習・風俗知識の涵養
4 同前 公用的用語の学習	4 会話に使われる日本語諺の習得・置換え検討
5 テキストの日本語文（随筆文等）の逐語通訳	5 上記の使われた発話の通訳実施
6 同前 一日本独特の風習・風俗知識の涵養	6 中間テスト（後期事項のペーパーテスト）
7 会話に使われる韓国語諺の習得置換え検討	7 絵カード（日本諺）を使ったフリートーク
8 上記の使われた発話の通訳実施	8 同前 フリートークは自国語（その通訳実施）
9 中間テスト（既出事項のペーパーテスト）	9 同前
10 絵カード（韓国諺）を使ったフリートーク	10 テキスト韓国語文（論評文等）
11 同前 フリートークは自国語（その通訳実施）	11 情緒的表現等の通訳検討
12 同前	12 同前
13 試験に備えテキストの復習と総点検	13 試験に備えたテキストの総復習
14 期末試験	14 学年末試験
15 講評と総括 成績の提示	15 講評と1年間の総括 成績提示

### 教員紹介

NHK国際局韓国語放送総責チーフプロデューサー  
 韓国 誠信女子大学文学部教授 歴任  
 東京地方裁判所 委嘱 法廷通訳

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
コミュニケーション翻訳2	2年次	4	劉哲宗	月曜日・2限目

概要

一年次に取り扱った小説・評論・随筆等の言語・文章全般の表現より、高度の文章を翻訳し、理解する。また、翻訳・通訳家になるための高度なスキルを高めるため、学習する。

到達目標

--

受講要件

日本語能力試験N2以上
-------------

評価方法

出席率、受講態度、宿題、中間・期末テスト
----------------------

テキスト

コミュニケーション翻訳2（配布）
------------------

参考書

--

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション	1 『パニック』（S32小説）翻訳①
2 『体験ルポ・世界の高齢者福祉』①	2 『パニック』（S33小説）翻訳②
3 『体験ルポ・世界の高齢者福祉』②	3 『パニック』（S34小説）翻訳③
4 『幽霊』（小説）①	4 『欧米文化の衝撃』翻訳
5 『幽霊』（小説）②	5 『友情』翻訳
6 「子の心親知らず」翻訳①	6 『恋愛の発見』翻訳①
7 「子の心親知らず」翻訳②	7 『恋愛の発見』翻訳②
8 「朝の思索」翻訳②	8 窓（冒頭）翻訳
9 「朝の思索」翻訳①	9 「天声人語」翻訳
10 『日本語の個性』 「女性的言語」翻訳①	10 「日本語と女」翻訳①
11 『日本語の個性』 「女性的言語」翻訳②	11 「日本語と女」翻訳②
12 『日本語の個性』 「女性的言語」翻訳③	12 『幼年時代』（大8、小説）翻訳①
13 『虫のいろいろ』翻訳①	13 『幼年時代』（大9、小説）翻訳②
14 『虫のいろいろ』翻訳②	14 総まとめ
15 中間テスト	15 期末テスト

教員紹介

日本語と韓国語の微妙な意味合いを活かしつつ、その翻訳には長年の経験と実績あり。
---

# 2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
翻訳演習	2年次	4	趙正圭	火曜日・2時間目

## 概要

1. 翻訳演習 : 小説翻訳  
 文学的な表現を相対する言語に訳する演習を通してより豊かな表現力を磨く。前期の前半は日本語の小説を韓国語に翻訳。  
 前期の後半は韓国語の小説を日本語に翻訳。  
 ①発表はゼミ形式。発表者は与えられた課題を訳したものを事前に配布し、発表後は授業に参加した者と訳に対する意見交換を行う。  
 ②授業の主体は発表者と授業参加者という意識を持つこと。

2. 通訳基礎トレーニング  
 後期の前半は実戦通訳を構えての基礎トレーニングを行う。  
 ①短文リスニングのトレーニング  
 短い文章を聞き、スピーディーな方法で書き取るトレーニング  
 ②逐次通訳トレーニング（内容の書き取りトレーニング：実戦では話し手の言葉をいかに正確にメモするかが重要なカギとなるため、任意のナレーションを迅速かつ正確に書き取り、清書して提出する。

3. 通訳演習  
 ①授業はゼミ形式で発表は模擬パネルディスカッション。  
 ②予め決めたテーマに日韓、それぞれの発表者二名に通訳者二名が一つのチームを組みパネルディスカッションの形で模擬セミナーを行う。  
 ③発表当該者の外は傍聴者。  
 ④発表後は参加者全員で通訳者を交えて質疑応答を行う。

## 到達目標

前期は翻訳演習。  
 後期は通訳演習。  
 翻訳演習を通して文学ならでの豊かな表現力、文章力を磨く。  
 通訳演習では日韓両国の時事問題を扱っての実戦さながらの模擬練習で通訳に対する言語瞬発力をはじめとする、よりハイレベルの通訳を目指すトレーニングを行う。

## 受講要件

日韓通訳翻訳コース2年生

## テキスト

自主制作、配布

## 評価方法

レポート及びゼミ発表（50点満点）  
 試験（50点満点）

## 参考書

小説2冊

## 授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 翻訳演習：小説翻訳1（日本小説）	1 通訳演習1
2 翻訳演習：小説翻訳2（日本小説）	2 通訳演習2
3 翻訳演習：小説翻訳3（日本小説）	3 通訳演習3
4 翻訳演習：小説翻訳4（日本小説）	4 通訳演習4
5 翻訳演習：小説翻訳5（日本小説）	5 通訳演習5
6 翻訳演習：小説翻訳6（日本小説）	6 通訳演習6
7 翻訳演習：小説翻訳7（日本小説）	7 通訳演習7
8 翻訳演習：小説翻訳8（韓国小説）	8 通訳演習8
9 翻訳演習：小説翻訳9（韓国小説）	9 通訳演習9
10 翻訳演習：小説翻訳10（韓国小説）	10 通訳演習10
11 翻訳演習：小説翻訳11（韓国小説）	11 通訳演習11
12 翻訳演習：小説翻訳12（韓国小説）	12 通訳演習12
13 翻訳演習：小説翻訳13（韓国小説）	13 通訳演習13
14 翻訳演習：小説翻訳14（韓国小説）	14 通訳演習14
15 定期試験一小説翻訳	15 定期試験一通訳

小グループ発表  
 （発表2名、通訳2名）

## 教員紹介

担当教員は韓国語大を経て日本に留学し、東京外語大の日韓ビジネスコンサルティング会社でビジネスコーディネーター及び多数の通訳・翻訳を経験。2007年度から当専門学校で講師を務めている。

## 2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
実務通訳・翻訳Ⅱ	2年次	4	趙基銀	火曜日・1限目

### 概要

通訳や翻訳に関わる分野でよく。1学期は、観光案内士試験に関わる韓国語を勉強する。2学期は、ホテル業務に関わる実務表現について勉強する。観光に関する一般的な表現を習得する。

### 到達目標

通訳と翻訳の基本知識を習得する。

### 受講要件

### 評価方法

出席－40%  
小テスト－10%  
試験－40%  
授業態度&参加度－10%

### テキスト

観光ガイド過去問題

### 参考書

### 授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 観光ガイド－H27年度①	1 観光ガイド－H20年度①
2 観光ガイド－H27年度②	2 観光ガイド－H20年度②
3 観光ガイド－H26年度①	3 観光ガイド－H19年度①
4 観光ガイド－H26年度②	4 観光ガイド－H19年度②
5 観光ガイド－H25年度①	5 観光ガイド－H18年度①
6 観光ガイド－H25年度②	6 観光ガイド－H18年度②
7 観光ガイド－H24年度①	7 観光ガイド－H17年度①
8 観光ガイド－H24年度②	8 観光ガイド－H17年度②
9 観光ガイド－H23年度①	9 観光ガイド－H16年度①
10 観光ガイド－H23年度②	10 観光ガイド－H16年度②
11 観光ガイド－H22年度①	11 観光ガイド－H15年度①
12 観光ガイド－H22年度②	12 観光ガイド－H15年度②
13 観光ガイド－H21年度①	13 観光ガイド－H14年度①
14 観光ガイド－H21年度②	14 観光ガイド－H14年度②
15 中間テスト	15 期末テスト

### 教員紹介

通訳ガイド、医療通訳・翻訳（総合研究所）、ビジネス通訳(KOTRA, 韓国貿易協会など)、学術通訳などの通訳経験多数  
韓国語講師、日本語講師

## 2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
実務通訳・翻訳Ⅲ	2	4	趙基銀	水曜日・1限目

### 概要

この授業では、司法通訳とビジネス通訳の勉強をする。司法・警察およびビジネスの実務に関わる表現を勉強する。国際化は商業的な面だけではなく、司法・警察など犯罪の増加と結びついているため通訳・翻訳を必要とする。しかし、言葉が通じないため調べられる側も、調べる側も困難な状況に陥る。そのため、1学期は司法・警察の現場において使われる表現を勉強する。2学期では、ビジネスの現場において使えるより深化した表現を勉強する。

### 到達目標

通訳と翻訳の基本知識を習得する。

### 受講要件

### 評価方法

出席－40%  
小テスト－10%  
試験－40%  
授業態度&参加度－10%

### テキスト

韓国語〈司法通訳〉ハンドブック  
商談のための日本語

### 参考書

### 授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション/司法関連専門用語①	1 ビジネス通訳-説明①
2 司法関連専門用語②	2 ビジネス通訳-説明②
3 状況別の慣用句①	3 ビジネス通訳-意見①
4 状況別の慣用句②/小テスト	4 ビジネス通訳-意見②
5 状況別の慣用句③	5 ビジネス通訳-賛成①
6 状況別の慣用句④	6 ビジネス通訳-賛成②
7 状況別の慣用句⑤	7 ビジネス通訳-反対①
8 状況別の慣用句⑥	8 ビジネス通訳-反対②
9 取り調べ①/小テスト	9 ビジネス通訳-結論①
10 取り調べ②	10 ビジネス通訳-結論②
11 取り調べ③	11 ビジネス通訳-説得①
12 取り調べ④	12 ビジネス通訳-説得②
13 取り調べ⑤	13 ビジネス通訳-クレーム
14 取り調べ⑥	14 ビジネス通訳-プレゼンテーション
15 中間テスト	15 期末テスト

### 教員紹介

通訳ガイド、医療通訳・翻訳（総合研究所）、ビジネス通訳(KOTRA, 韓国貿易協会など)、学術通訳などの通訳経験多数  
韓国語講師、日本語講師